



古里猪苗代に思いをはせる 東京町民会総会が盛大に開かれる

首都圏などに住む猪苗代町出身者でつくる東京猪苗代町民会の総会・懇親会は5月11日、東京都港区のホテルグランパシフィック・Le・DAIBAで開かれました。町からは前後公町長、鈴木武喜町議会議長、佐藤正猪苗代観光協会会長ら24人が出席し、盛會を祝うとともに、会員の皆さんと交流を深めました。今年の総会には、ソチパラリンピック金メダリストの鈴木猛史さんも出席し、坂直孝会長から名誉会員の称号が贈られました。

1_会場内は、友人との再会を喜んだり、昔話に花を咲かせたりする会員の皆さんの笑顔であふれていました 2_懇親会の最後には、猪苗代民謡伝承会のおはやしで「会津磐梯山」を踊りました 3_会場で販売した町の特産品が好評。懇親会終了時には、ほとんどの商品が売り切れになりました



受章の報告に訪れた五十嵐さん(右)

五十嵐正義さんに藍綬褒章 消防活動推進の功績をたたえる

春の褒章で藍綬褒章を受けた町消防団長の五十嵐正義さん(扇田)は5月20日、町役場を訪れ、前後町長に受章を報告しました。五十嵐さんは昭和51年に町消防団に入団。第三分団長、庶務分団長などを歴任した後、平成25年に団長に就任しました。今回の受章は、長年にわたり消防力の強化に努め、消防活動の推進に寄与した功績が認められたものです。五十嵐さんは「大変重みを感じる。地域の防災にさらに精進していきたい」と話しました。

道の駅の開業準備が本格スタート 運営三セク(株)道の駅猪苗代が発足

町が整備をしている「(仮称)道の駅猪苗代」を運営する第三セクター「株式会社道の駅猪苗代」が5月27日に発足し、平成28年の開業に向けての準備が本格的にスタートしました。資本金は5600万円で、そのうち5000万円を町が出資し、前後町長が社長を務めます。発足式は同日、町役場で行われ、前後町長が「できるだけ早く道の駅を開業し、町の活性化につなげたい」とあいさつしました。



発足式であいさつを述べる前後町長



絶好のロケーションの下、花見を楽しむ来場者

女将たちが花見客におもてなし

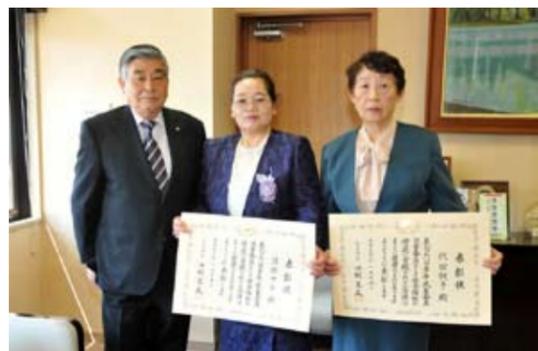
町営牧場でおかめの会祭り

翁島地区の4旅館(たなべの湯、さぎの湯、住吉館、ホテルみなとや)の女将でつくる「女将の会」と町商工会翁島支部は5月6日、町営牧場で「おかめの会祭り」を開きました。桜が舞い散る会場内では、女将らがこづゆを振る舞ったほか、お茶の野だてや民話の語り、よさこいの演舞などを繰り広げ、訪れた花見客らを楽しませました。親子連れなどに好評だった凧揚げ体験では、子どもたちが凧の糸を引きながら元気に駆け回っていました。

社会福祉増進の功績をたたえる

渡部サタさんと代田悦子さんに厚生労働大臣特別表彰

民生児童委員を長年務め、このほど退任した渡部サタさん(松橋)と代田悦子さん(半坂)に厚生労働大臣特別表彰が贈られました。この表彰は、長年にわたり民生児童委員を務め、社会福祉の増進に貢献したことが認められたものです。渡部さんは21年間、代田さんは15年間委員を務めました。伝達式は4月24日、町役場で行われ、前後町長が2人に表彰状を手渡しました。



表彰を受けた渡部さん(中央)と代田さん(右)



共通男子400mリレーで懸命に走る選手たち

大会新記録が次々に誕生

北会津管内中学校陸上競技大会

北会津管内中学校体育大会陸上競技大会は5月14日、町運動公園陸上競技場で開かれ、猪苗代、磐梯両町の4中学校から男女合わせて223人が出場しました。今年の大会は好記録が続出。男子は3年100mで大会タイ、共通400mリレーで大会新、女子は3年100m、共通200mと1年1500mで大会新記録が生まれました。各種目の優勝者と記録は下記のとおりです。

【男子】●1年100m 会田拓矢(東)13秒7 ●2年100m 竹本和史(磐梯)12秒5 ●3年100m 藤田優斗(東)11秒5 =大会タイ ●共通200m 藤田優斗(同)24秒1 ●共通400m 長峰悠真(猪苗代)55秒9 ●共通110m障害 齋藤良成(同)19秒3 ●共通800m 一ノ瀬和成(東)2分12秒6 ●1年1500m 後藤サン(猪苗代)5分7秒5 ●2・3年1500m 波多野寛大(同)4分32秒6 ●共通3000m 吉田勇大(東)9分44秒8 ●共通走り高跳び 鈴木雄大(同)1m61 ●共通棒高跳び 村澤和真(吾妻)2m90 ●共通走り幅跳び 森田康哉(同)5m72 ●共通砲丸投げ 田中優光(同)7m93 ●共通4種競技 一ノ瀬翼(猪苗代)1222点 ●1・2年400mリレー 猪苗代(青木剛、菅野健太、蛭田彪牙、一ノ瀬翼)53秒6 ●共通400mリレー 東(鈴木健大、

藤田優斗、福地智也、大原知也)46秒3 =大会新 = 【女子】●1年100m 小林楓羽(猪苗代)14秒2 ●2年100m 渡邊美森(東)14秒1 ●3年100m 江尻由羅(同)13秒3 =大会新 = ●共通200m 江尻由羅(同)27秒2 =大会新 = ●共通100m障害 遠藤真桜(吾妻)16秒9 ●共通800m 鈴木真奈(猪苗代)2分32秒9 ●1年1500m 染谷菜々美(同)5分21秒6 =大会新 = ●2・3年1500m 鈴木真奈(同)5分18秒7 ●共通走り高跳び 川井千乃(同)1m21 ●共通走り幅跳び 佐藤三紀子(吾妻)3m93 ●共通砲丸投げ 遠藤瑠奈(同)8m31 ●共通4種競技 高橋優花(磐梯)1270点 ●1・2年400mリレー 東(棚木芽依、阿部凜、小椋山紗永、渡邊美森)57秒3 ●共通400mリレー 磐梯(大森茜、田中ほたる、秋山貴美、横山夢乃)56秒7



カメラーナでギネス世界記録

協和発酵キリン杯 4県(絆)卓球大会

4月26、27の両日、カメラーナで開かれた「協和発酵キリン杯・復興応援 WASURENAI 3.11 第4回4県(絆)卓球大会」でギネス世界記録が誕生しました。

大会2日目の27日、参加者らはこれまでの記録である「ラリーピンポンリレー」106人を更新すべく挑戦。前日の練習では何度練習しても記録を上回ることが出来ず、不安と緊張の中で本番を迎えましたが、1回目の挑戦で139人がラリーを成功させ、参加した196人全員がギネス世界記録保持者となりました。

この大会は、東日本大震災で被災した本県と岩手、宮城、茨城各県の卓球協会が主催し、協和発酵キリンが協賛しているもので、2011年から開催されています。4年目を迎えた今年は4県から小・中・高校生約150人が参加し、試合などを通して交流を深めました。

27日に行われた、実業団の選手らによる講習会と「ラリーピンポンリレー」には町内の小・中学生も参加。憧れの選手から技術指導を受けたことに加え、ギネス記録保持者にもなるなど、地元の子どもたちにとって貴重な一日となりました。

写真上_ギネス世界記録達成後、記念撮影をする参加者たち。前日の練習では一度も記録を上回らなかったものの、本番では1回で記録を更新しました
写真右_実業団の選手から指導を受ける町内の小・中学生



Voice

六角玲衣さん(左)、日出山愛夏さん(ともに東中3年)

ギネス記録ホルダーになれてうれしいです。また、実業団の選手に指導してもらい、勉強になりました。教わったことを部員に広げて、中体連でも生かしたいと思います。



神事で玉串を捧げて拝礼する土屋重憲教育長

正之公ゆかりの伊那市を訪問

保科正之公生誕 403 年祭に参加

4月29日に長野県伊那市で開かれた、「保科正之公生誕 403 年祭」に本町から17人が参加しました。今年から町親善交流事業実行委員会が設立され、正之公に縁のある伊那市との交流を深めようと、実行委員会の会員が同市を訪ねました。伊那市を訪れた皆さんは、神事に出席したほか、生誕祭に合わせて開催された「高遠町桜大学」に参加し、正之公について理解を深めました。前日には交流会に参加し、伊那市の皆さんと交流を深めました。

農業に親しむきっかけに

J A あいづが小学校に教材を贈呈

J A あいづは4月22日、町内6小学校の5年生107人に補助教材「農業とわたしたちの暮らし」を寄贈しました。贈呈式は同日、町役場で行われ、J A あいづの岩橋直芳代表理事専務が千里小学校の棚木恵叶さんと穴澤乃野さんに教材を手渡しました。棚木さんと穴澤さんは「この本を使って農業について勉強したい」とお礼の言葉を述べました。土屋重憲教育長と千里小学校の大堀浩平校長が同席しました。



贈呈式に出席した(右から)岩橋専務、棚木さん、穴澤さんら



前後町長から賀寿を受ける六角さん(右)

六角ミドリさんが100歳に

長寿を祝い、賀寿などを贈呈

5月23日に満100歳の誕生日を迎えた六角ミドリさん(川崎)への賀寿贈呈式は同日、特別養護老人ホーム咲楽の里で行われ、家族らが長寿を祝いました。前後町長、戸田忠義町老人クラブ連合会長らが賀寿や記念品などを贈り、子や孫の皆さんが花束を手渡しました。六角さんは子8人、孫11人、ひ孫6人に恵まれました。長生きの秘訣は、好き嫌いせず何でも食べることと家を守っていくという信念を持つことだそうです。

磐梯山に登山シーズン到来

山開きで3500人が山頂目指す

福島県を代表する名峰磐梯山(1816m)の山開きは5月25日に行われ、約3500人の登山者が山頂を目指しました。猪苗代登山口では、関係者や登山者らが参加して安全祈願祭が行われ、シーズン中の無事故を祈願しました。午前中の山頂付近は霧に覆われ、大パノラマを望むことはできませんでしたが、登頂した人たちは山頂に祭られた磐梯明神に参拝したり、記念撮影をしたりして思い出を作っていました。



残雪を踏みしめて山頂を目指す登山者



イベント会場には118人ものお客さんが詰め掛けました

地域の皆さんと交流を深める

町立猪苗代病院がふれあいの日イベント

町立猪苗代病院の「ふれあいの日」イベントは5月22日、同院で開かれました。このイベントは、年に2回、町民との交流を目的に実施しているもので、この日は歌手の関大八さんのヨーデルコンサートやエミフラ愛好会マウナによるフラダンスの発表などが行われたほか、骨密度測定や血圧測定などの健康チェックコーナー、看護・介護や薬などの相談コーナーも設けられました。来院者には抹茶やコーヒーなどが振る舞われ、好評を博しました。

桜並木の保全に役立てて

版画家の橋本広喜さんが町に寄付

郡山市の版画家橋本広喜さんは5月16日、観音寺の黒田清哲住職と共に町役場を訪れ、商工観光振興事業費協力金として3万円を寄付しました。橋本さんは4月24日から5月6日までの「観音寺川桜まつり」の期間に合わせ、観音寺本堂内で「ふるさと桜版画展」を開催。観音寺川の桜並木保全に役立ててほしいと、昨年に引き続き売上金の一部が寄せられたものです。贈呈式は同日、町役場で行われ、橋本さんが前後町長に寄付金を手渡しました。



寄付金を手渡す橋本さん(中央)と同席した黒田住職(右)